

図書館だより



令和8年1月号
泉が丘小学校

新年あけまして、おめでとうございます。お正月は、新しい年のはじまりです。日本では、その年はじめてのことに「初」をつけて、様々な願い事をしました。「初日の出」、「初夢」、「書き初め」などです。みなさん、「初もの」にどんな願いをこめましたか？



ことし え と うま ほん
今年の干支 馬がでてくる本



干支の中でも「午」は、勢いのある年、前向きな動きを生む年とされています。馬は、古来富の象徴であったり、人々の生活を支えたり、縁起の良い動物でした。ここでは、「馬」が登場する昔話や本を紹介します。

「チャマコとみつあみのうま メキシコ・ミステカ族のお話」清水たま子／福音館書店



チャマコは牧場を手伝う男の子。村人から「みつあみのまもの」の話を書いた日、不思議なおじいさんにであいます。

「うまかたやまんば」おざわとしお再話／福音館書店



馬方が魚を馬に乗せて峠を行くと、山姥が追いかけてきて、すべて食べてしまいます。さて馬方の仕返しは？

「十二支のはじまり」岩崎京子／教育画劇



「一月一日の朝、神様の家にきた者に1年ずつ年をやる」と聞いた動物たちは大はりきり。十二支の中に、馬もいますね！

「ルシールはうま」アールド・ローバル／文化出版局



ルシールはおひやくしょうさんの馬。すきを引っ張り、畑で働くことにあきあきして、帽子や服を着て美しく装ってみますが…。

「はるふぶき」加藤多一／童心社



三年生のマサルは馬の「アオ」のひくソリで一人で丸太を売りに町へ行きます。その帰り、ふぶきにあい、気を失ってしまいます。マサルはどうなるのでしょうか…。

「ナルニア国物語⑤ 馬と少年」

C.S.ルイス／岩波書店



奴隷になる寸前で逃げたシャスタは、ものいう馬ブリーとナルニア国侵攻の陰謀を知り、祖国を救うため旅を急ぎます。





新春イベント★泉が丘おみくじ



業間・昼休みに本を借りると、特製「泉が丘おみくじ」をひくことができます。

おみくじで大吉が出た人には、プラス1冊貸出をプレゼント！中吉・小吉が出た人は、おみくじがおすすめる本を借りたら、プラス1冊貸出をプレゼント。新年の運だめし、ぜひ、参加してくださいね！！

ちゅうい プラス1冊本を借りる時は、カウンターで**おみくじを見せてください**。
なくさないように気をつけましょう！



おせちマメ知識

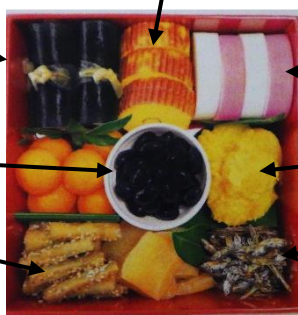
みなさんがお正月に食べる「おせち」。本来は、大みそかに年神様に供えたあと、家族で食べて、その年の健康をいのるものでした。それぞれのおかずに、願いがこめられていますので、いくつか紹介します。みなさんは、何を食べましたか？

だてまき：読書でかしこくなりますように

こぶまき：「よろこぶ」のこぶ

くろまめ：まじめにはたらけるように

たたきごぼう：長生きしますように



かまぼこ：赤と白はおめでたい色

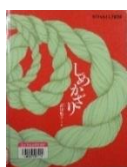
きんとん：お金がたまりますように

たづくり：豊作をいのって

1月におすすめの本

「しめかざり たくさんのふしぎ傑作集」

森須磨子／福音館書店



お正月、家の玄関に飾られる「しめかざり」。日本各地に、色々な形のしめかざりがあります。新春に厳かな気持ちになれる一冊。

「おせち」内田有美／福音館書店



おせち料理には、古来からの人々の願いが込められています。おせちを美しい絵と楽しいことばで紹介。

「雪の結晶のノート」マーク・キャシー・ジョン・礼リ

／あすなろ書房



雪の結晶はどのように美しく複雑なんでしょう？小さな「ちり」がもたになって、水と空気で作られます。あなたも観察してみよう！

「しもばしら」野坂勇作／福音館書店



凍るように寒い冬の朝、畑の上を歩くとサクサクッとくずれる霜柱。どうやってできるのかな？